

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和3年2月18日(2021.2.18)

【公開番号】特開2019-140194(P2019-140194A)

【公開日】令和1年8月22日(2019.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-034

【出願番号】特願2018-20797(P2018-20797)

【国際特許分類】

H 01 L 21/02 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/02 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月5日(2021.1.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の第6の局面は、本発明の第5の局面において、

前記サンプリング周期制御ステップは、前記時系列データの種類を相互に関連づけて記憶する要因関連テーブルを用いて、前記他の時系列データを求めるときのサンプリング周期を前記異常周期に制御することを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

サンプリング部11は、基板処理装置20における物理量の測定結果に基づき時系列データ7を求める。より詳細には、サンプリング部11は、基板処理装置20で得られた測定データからある時間間隔(以下、サンプリング周期という)でデータを抽出することにより、時系列データ7を求める。サンプリング周期制御部18は、サンプリング部11で用いられるサンプリング周期を時系列データ7ごとに制御する。データ記憶部12は、サンプリング部11で求めた時系列データ7と、時系列データ7の期待値データである基準データ8とを記憶する。基準データ8には、例えば、多数の時系列データの中で期待値データとして最適と判断された他の時系列データが使用される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0056】

次に、データ記憶部12は、ステップS103で求めた複数の時系列データ7を記憶する(ステップS104)。次に、スコア計算部13は、データ記憶部12に記憶された複数の時系列データ7のスコアを求める(ステップS105)。ステップS105において、スコア計算部13は、各時系列データ7と対応する基準データ8とを比較することによりスコアを求める。次に、結果表示部14は、ステップS105で求めたスコアに基づく

画面を表示する（ステップS106）。結果表示部14が表示する画面は、時系列データ7のスコアに基づく限り任意でよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

ステップS136またはS137でY<sub>e</sub>sの場合、サンプリング周期制御部18は、時系列データSQ3を求めるときのサンプリング周期を正常周期に制御する（ステップS138）。ステップS138において、サンプリング周期制御部18は、サンプリング周期定義テーブル16cから時系列データSQ3の種類に対応した正常周期を読み出し、次回以降に時系列データSQ3を求めるときのサンプリング周期を読み出した正常周期に設定する。次に、サンプリング周期制御部18は、図8に示すステップS119と同様に、要因関連テーブル17を参照して、必要に応じて他のサンプリング周期を正常周期に制御する（ステップS139）。サンプリング周期制御部18は、ステップS134またはS139を行った後、もしくは、ステップS132、S135またはS137でNoと判断した後に、ステップS130を終了する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

前記サンプリング周期制御ステップは、前記時系列データの種類を相互に関連づけて記憶する要因関連テーブルを用いて、前記他の時系列データを求めるときのサンプリング周期を前記異常周期に制御することを特徴とする、請求項5に記載のデータ処理方法。